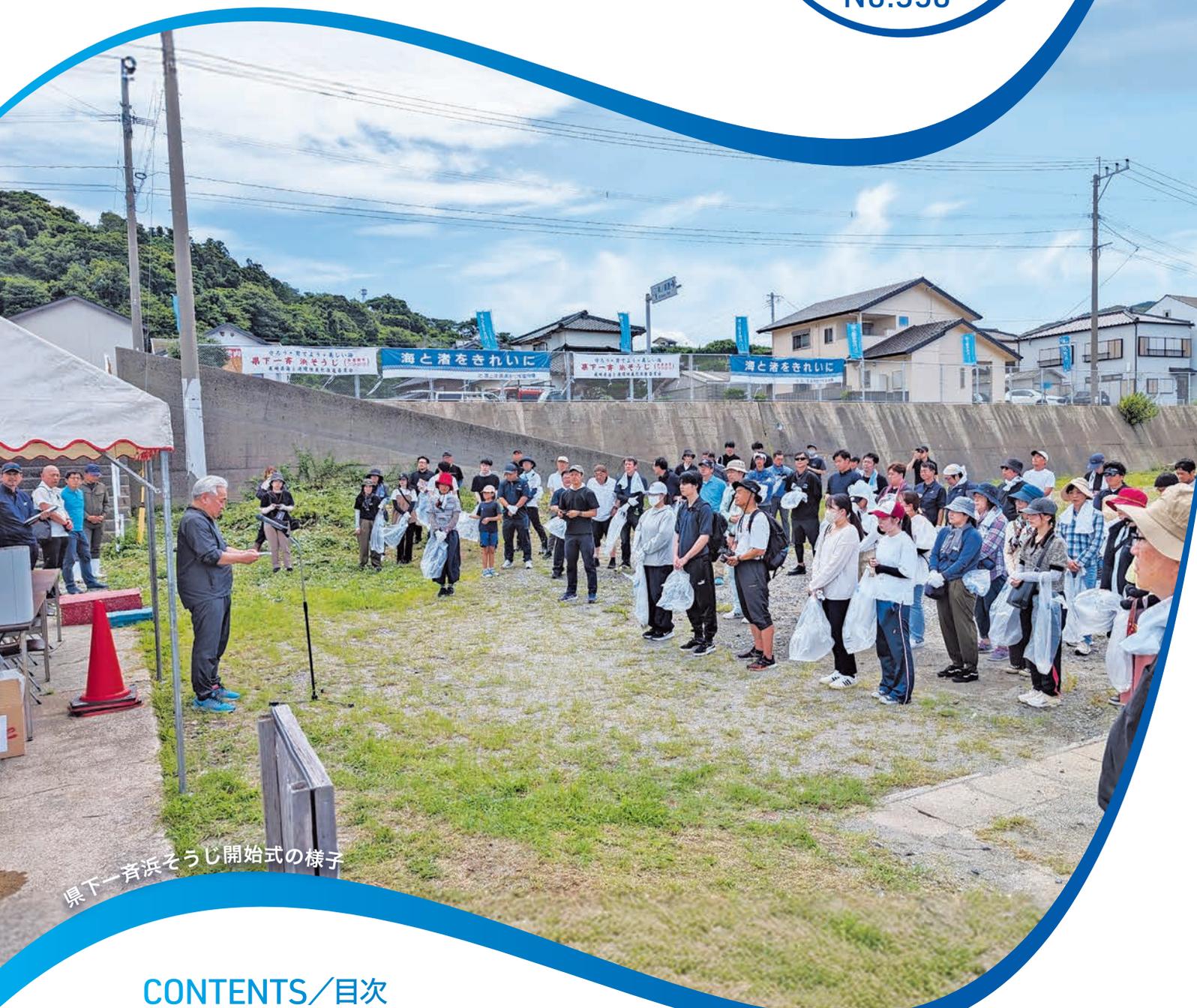


# 漁連だより

2025

8・9

No.358



県下一斉浜そうじ開始式の様子

## CONTENTS/目次

第27回ジャパンインターナショナルシーフードショー…………… P1	長崎県延縄漁業協議会「第36回定期総代会」の開催…………… P6
令和7年度県下一斉「浜そうじ」開始式を開催…………… P2	2025年度全国漁青連通常総会及びブラッシュアップ研修会2025が開催…………… P7
漁協一般職員研修会を開催…………… P3	研究3機関との情報・意見交換会…………… P8
県北地区で移動役員会を実施…………… P4	有明海ヘトラフグ種苗放流を実施…………… P8
長崎県まぐろ養殖協議会「第12回通常総会」の開催…………… P5	トラフグ日本海・東シナ海・瀬戸内海系群の資源評価について…………… P9

# 第27回ジャパンインターナショナルシーフードショー

事業推進部 営業課

さる8月20日から22日において、東京都にある東京ビッグサイトにおいて「第27回ジャパンインターナショナルシーフードショー」(以下、東京シーフードショー)が開催されました。

「東京シーフードショー」は、大日本水産会主催の水産をテーマとした日本を代表する国際水産見本市であり、日本各地の地域食材から、世界各国の水産原料、そして水産業の発展を支援する新技術・サービスまで、水産業界のトレンドを発信するマーケットです。

今回の東京シーフードショーは、国内約500社、海外約130社が出展し、3日間を通して約2万8千人が来場し、終日賑わいを見せていました。

本会ブースでは冷凍加工品(天然ブリ商材・刺身パック・朝どれ鮮魚フィレなど)、常温加工品(煮干・焼きあごなど)、約15品目を展示し、高鮮度・高品質の本県水産物のPRを行いました。

天然魚においては近年、量販・外食向けに需要が高まっている太刀魚・キンメダイ・カマスなどの県産魚を本会加工センターにてファイル加工し、昨年導入した

アルコール凍結機にて急速凍結した生食用製品を展示しました。寿司ネタ用などに活用できることから、バイヤーから高い評価を頂きました。また、輸出向けについて、展示していた天然ブリフィレをはじめ、本県の鮮魚の提案や要望が多く、水揚げが厳しい中でも、浜の状況について随時情報共有を行いたいという声が多く寄せられました。

加工品においては、生協・量販店向けの案件が多く、全国的に家庭で解凍するだけで食卓に並べることができる簡便品の需要が高まっている印象を受けました。また、関東などの都市圏では、価格より



も「長崎県産」や「旬の魚」といった商品イメージが重宝される傾向があるとの意見がありました。今後は、商品ごとに地域性や特徴を活かしながら、販売力の強化に繋げていきたいと思えます。

近年、国内の漁業生産量の減少や消費低迷など、暗いニュースが多いですが、多くの展示業者が付加価値を付ける等の様々な工夫を凝らし、新たな商品開発をされていました。本会としても引き続き、本県水産業の発展に向けて、一層努力し、本県水産物のPR及び、販売拡大に努めて参ります。



本会ブースの様子

# 令和7年度 県下一斉「浜そうじ」開始式を開催

長崎県海と渚環境美化推進委員会

長崎県海と渚環境美化推進委員会では、長崎県の貴重な財産である青く豊かな海と美しい渚を守るため、漁協と共催し、長崎県下各浜の海岸で、毎年7月15日～8月13日を浜そうじ推進期間として「県下一斉浜そうじ」を実施しています。

今年も、7月19日に長崎市神浦江川町「原の浜（はろのはま）」にて県下一斉浜そうじ開始式を開催しました。近年では、降雨による中止や新型コロナウイルス感染症による規模を縮小した開催が続いておりましたが、今回、平成30年以来7年ぶりの通常開催となりました。

開始式では会員を代表して長崎県漁連 田代専務が挨拶し、受入地区を代表し長崎市萩原農林水産部長、長崎市みなと漁協濱口組合長より挨拶が行われました。

田代専務は、「長崎県の貴重な財産である青く豊かな海、美しい渚を守り、県

民の皆様が楽しめる豊かな海を次世代に残していくために、県民・漁業関係者の方々と連携、協力し活動の輪を広げたい」と挨拶しました。

当日は晴天に恵まれ、参加者は大汗をかきながら清掃活動に取り組んでいました。原の浜には、前日の豪雨の影響で流木や漂着ゴミが打ち上げられていましたが、大人数で行ったこともあり約1時間の清掃で、海岸は見違える程綺麗になりました。



濱口組合長の挨拶

本委員会では、県民に海の大切さを伝えていくため、毎年県下の海岸で清掃活動を開催していますので、是非皆様のご参加をお待ちしています。なお開催にあたり、特段のご協力をいただいた長崎市役所および長崎市みなと漁協の皆様には紙面を借りてお礼申し上げます。



清掃活動の様子

# 漁協一般職員研修会を開催

総務指導部 指導課

さる9月11日、12日の2日間、漁協会館において、漁協一般職員研修会を開催しました。

漁協一般職員研修会は、会計面についての知識習得と漁協運営の強化を図ることを目的としており、本会と長崎県漁協専務参事会との共催で開催しています。

今回の研修会では、「漁協簿記における決算整理事項」を中心に左記7テーマについて研修し、26漁協より33名が参加しました。また、初めての試みとして、参加者同士での交流を深めるために、グループワーク（意見交換会）を実施しました。

## ○研修テーマ

・ 決算処理の意義・原価と棚卸・減価償却費・引当金・経過勘定・処分未済持分の管理・剰余金の処分（損失金の処理）

研修会1日目は、決算処理の意義や原価と棚卸の関係性、減価償却費の概要について説明を行った後、参加者を5〜6

名の6班に分け、「経理処理の効率化」をテーマとしたグループワークを実施しました。

2日目には、引当金の概要や経過勘定、処分未済持分の管理、剰余金の処分（損失金の処理）について説明を行い、その後、グループワークの総評を事務局より行いました。

参加者からは、「資料を見ながら勉強できそう」「経理を担当している職員には充実した内容だった」「決算処理において注意すべきポイントが分かった」などの好評を頂きました。また、グループワークに関しても「他の組合の方と意見交換ができて良かった」「とても良かった」「今後も開催してほしい」といった声が寄せられ、有意義な研修となりました。

なお、本研修会は漁協職員の横のつながりを深めることも目的の一つとしており、初日終了後に懇親会を開催しました。系統職員同士が親睦を深め合うことができ、盛況のうちに全日程を終了しました。



グループワークの様子



研修会の様子

# 県北地区で移動役員会を実施

長崎県漁協専務参事会

さる8月7日から8日にかけて、県北地区において移動役員会を実施しました。

長崎県漁協専務参事会では、年に一度、県内各地区の専務参事会との交流を図る目的で移動役員会を実施しており、今年度は県北地区で開催しました。

## 【館浦漁協】

館浦漁協では、まき網漁業で使用されたポリエステル製漁網のリサイクル技術の確立に向けて、館浦漁港内に実証プラントを設置しています。実証プラントでは、使用済み漁網の洗浄工程や、漁網に塗布されたコーティングを溶剤洗浄機で除去する作業の様子を見学しました。処理された漁網は協力会社へ譲渡し、新たな衣類やプラスチック製品の原料に再生されるほか、熱源としてサーマルリサイクルが行われるとのことでした。その他「とよひめシイラ」のブランド化に向けた取組みや、定置網漁等の漁業体験、海洋プラスチックごみ問題への対策等について紹介を受けました。

## 【生月漁協】

直売所『おさかな市場 網元屋』を見

学しました。当日の朝に自営定置網で水揚げされた鮮魚が販売されていたほか、お盆が近いこともあり、地元で製造された落雁の販売準備も行われていました。また、生月漁協が運営するスーパー『JFいきつき しおかぜ』を併せて見学しました。

## 【新松浦漁協】

松浦魚市場に隣接する水産加工場では、HACCP対応への取組みのほか、松浦市鷹島町で生産されるブランドふぐ『鷹ふく』を使用した刺身商材や、松浦魚市場で水揚げされる鮮魚を使った加工品に



生月漁協 おさかな市場網元屋

ついでの紹介を受けました。また、特定技能実習制度を活用した外国人の雇用について役員間で情報交換が行われました。その他、漁協が福島町で自営しているクルマエビの養殖場を見学しました。クルマエビの成長に応じたエサの選定や市場の需要に合わせた給餌量の調整、IOT機器を活用した養殖場の管理手法等、先進的な取組みについて説明を受け、活発な意見交換が行われました。

本会では、引き続き、各地区との連携を密に、漁協運営の健全化に向けた情報交換や、職員の人材育成及び意識改革のための活動を展開していきます。



新松浦漁協 クルマエビ養殖場

# 長崎県まぐろ養殖協議会「第12回通常総会」の開催

長崎県まぐろ養殖協議会

さる7月31日、長崎県漁協会館にて第12回通常総会が開催され、会員・賛助会員や行政、系統団体等、約70名が参加しました。

○第12回通常総会

通常総会では、小川会長の主催者挨拶、長崎県水産部吉田部長、長崎県漁業協同組合連合会高平会長からの祝辞の後、議案審議に入り、全議案とも原案通り承認されました。また総会終了後には、水産庁より「サバ類・マイワシのTAC」について、(株)共冷より「養殖餌料」についての講演が行われました。

【第1号議案】令和6年度業務報告及び収支決算承認の件

【第2号議案】令和7年度活動計画(案)及び収支予算(案)、令和7年度会費の賦課及び徴収の時期・方法の件

【第3号議案】規約の改定の件

【第4号議案】役員改選の件  
【第5号議案】その他

第4号議案の役員改選において、新役員候補者が承認され、会長、副会長、監事について互選を行い、左記の通り決定しました。

	〈新役員体制〉	
会長	安藤 翔平	上五島地区
副会長	原田 繁盛	杵岐・対馬地区
〃	藤 道晴	杵岐・対馬地区
理事	石山 直良	下五島地区
〃	藤川 剛	下五島地区
〃	山下 安郎	上五島地区
〃	大西 啓之	県北地区
〃	良川 忠必	県北地区
〃	藤 弥	杵岐・対馬地区
〃	多良 哲矢	杵岐・対馬地区
監事	岡部 聖二	県南地区
〃	西田 正隆	杵岐・対馬地区



会長に就任した安藤氏の挨拶



通常総会の様子

# 長崎県延縄漁業協議会「第36回定期総代会」の開催

長崎県延縄漁業協議会

長崎県延縄漁業協議会は、フグ・アマ延縄漁業の操業安全と秩序維持、並びに資源の保護育成に努め、漁業の振興と経営の安定を図ることを目的に活動しています。

【第36回 定期総代会】

さる7月16日に開催された第36回定期総代会では、左記の議案について協議され、全議案とも原案通り承認されました。

- 第1号議案…令和6年度事業報告及び収支決算承認の件
- 第2号議案…令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件
- 第3号議案…令和7年度会費の賦課及び徴収の時期・方法について
- 第4号議案…西日本延縄連合協議会（4県漁撈長会議）確認事項について
- 第5号議案…役員改選について
- 第6号議案…その他について

なお、第5号議案「役員改選」においては、議案承認後、新役員にて互選会が実施され、左記の通り決定しました。

会長	西 寛	(箱崎漁協)
副会長	糸瀬 光信	(上対馬町漁協)
理事	多良 哲也	(西有家町漁協)
理事	吉岡 巖	(布津町漁協)
理事	岩本 義人	(大瀬戸町漁協)
理事	永川 親好	(有家町漁協)
理事	後藤 正喜	(志々伎漁協)
理事	北吉 忠行	(志々伎漁協)
理事	濱田 利弘	(宇久小値賀漁協)
理事	蛭子 繁美	(宇久小値賀漁協)
理事	浦口 展央	(浜串漁協)
監事	浜辺真佐文	(長崎市茂木漁協)
監事	吉住 正和	(新松浦漁協)

※任期は、3年間となります。



西新会長の挨拶



定期総代会の様子

# 2025年度全国漁青連通常総会及び ブラッシュアップ研修会2025が開催

長崎県漁協青壮年部連合会

さる7月14日、東京都中央区日本橋にあるAP日本橋にて全国漁青連通常総会及びブラッシュアップ研修会が開催されました。

## 〈通常総会〉

主催者としてJF全国漁青連阿部会長理事より挨拶が行われた後、来賓として水産庁増殖推進部福島部長、JF全漁連三浦常務理事、全国農協青年組織協議会北川会長による挨拶が行われました。議長には、宮城県漁業協同組合青年部赤間部長が選出され、全議案は原案通り承認されました。

### 【第1号議案】

・2024年度事業報告及び収支決算の承認に関する件

### 【第2号議案】

・2025年度事業計画及び収支予算の決定に関する件

### 【第3号議案】

・2025年度会費の賦課並びに徴収方法に関する件

### 【第4号議案】

・その他に関する件

## 〈ブラッシュアップ研修会〉

通常総会終了後、別室にて青年漁業者グループリーダーの育成・資質向上並びに青年部間の交流を図ることを目的にブラッシュアップ研修会が開催されました。

今回の研修では、持続的な漁業の実現と、国民・消費者への安心・安全な水産食料の安定供給の役割を果たすため「将来の漁業を担う漁青連には何ができるのか」その役割と具体的な取組のアイデアを模索する機会として、講話及びワークショップ・グループディスカッションが行われました。

### ○講話

【日本の漁業の現状と漁業のポテンシャルを活かす道…JF全漁連 常務理事 三浦秀樹氏】

### ○情報提供

【諸課題に対応した浜プランの取組事例について…JF全漁連 浜再生推進部 部長 木山真一氏】

○ワークショップ・グループディスカッション

【日本のポテンシャルを活かし、持続可能な漁業を実現するため、漁青連として何ができるのか？その役割と具体的な取組を考える…株式会社 ウミトパートナーズ】



ブラッシュアップ研修会の様子



通常総会の様子

## 研究3機関との情報・意見交換会

長崎県漁協青壮年部連合会

さる9月8日、長崎県漁協会館にて研究3機関との情報・意見交換会を開催しました。

当情報・意見交換会は、本会役員と研究3機関（国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所・水産技術研究所、長崎大学環東シナ海環境資源研究センター、長崎県総合水産試験場）より、左記の内容について説明を受けた後、意見交換に入りました。

●上五島における藻場の発生状況

長崎大学 海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター 西原グレゴリー 教授

●漁業者間で情報を共有できるアプリの開発

長崎県総合水産試験場 漁業資源部 海洋資源科 高木主任研究員

本会役員からは、「海域ごとに適応する藻場の種類があるのか」「亜熱帯性の海藻が増えることによる漁業への影響とは」「紹介された機械を取り付ける際の費用はどのくらいか」「取り付け費用についての補助はあるのか」等双方活発な意見交換が行われました。本会役員としても普段接することのない研究者との貴重な意見交換であり、今回得た知識を持ち帰り共有することで少しでも漁村の活性化に貢献して参ります。



意見交換会の様子

## 有明海へトラフグ種苗放流を実施

長崎県延縄漁業協議会

さる7月30日に佐賀県白石町にて、トラフグ種苗(約70mm)を7千5百尾放流しました。

トラフグは、日本海・東シナ海・瀬戸内海系群と伊勢・三河湾系群の二系群存在し、長崎県で漁獲されるトラフグは前者にあたります。

トラフグの資源状態は依然として低位・減少傾向であるとの評価が出されており、九州・山口北西海域トラフグ広域資源管理方針に基づき下記の取り組みを行っています。



放流されたトラフグ

(1) 漁獲努力量の削減措置

① 承認制・届出制の実施

承認制は総トン数5トン以上のトラフグはえ縄漁船とする。届出制は総トン数5トン未満のトラフグはえ縄漁船とする。(長崎県では承認隻数上限が95隻)

② 操業期間の制限

海域を5つに分け、海域及び漁港ごとに休漁期間を設定する。

③ 小型魚の再放流

全長30cm以下のトラフグを採捕した場合、再放流する。

(2) 資源の積極的培養措置

国や関係県、九州海域栽培漁業推進協議会が連携・協力し、適地に適正サイズの健全種苗放流を推進する。

(3) 漁場環境保全措置

水産資源の保全と漁場環境の改善による海底耕耘や海底清掃等を実施する。

今回の放流は、「(2) 資源の積極的培養措置」にあたります。近年、佐賀県白石町で放流を行っておりますが、長崎県で放流するよりも当地区で放流した方がより効果が高いと調査結果が出ております。

異常気象による海況の変化が取り沙汰されておりますが、放流したトラフグが大きくなって戻ってくることに資源回復を願い現場を後にしました。

# トラフグ日本海・東シナ海・瀬戸内海系群の資源評価について

長崎県総合水産試験場 栽培漁業科

## はじめに

トラフグは、TAC候補魚種として検討が進められており、その管理目標については、国の水産資源研究所が関係県と共同して行う資源評価結果を基に提案がなされています。最新の資源評価結果は2025年8月に公表されています。

## トラフグ日本海・東シナ海・瀬戸内海系群について

トラフグは北海道と沖縄県を除く日本沿岸の内海・内湾域に生息し、中国・韓国などの東シナ海沿岸部にも広く分布しています。このうち、秋田県から鹿児島県にかけての日本海・東シナ海沿岸・豊後水道および瀬戸内海、有明海などの内海・内湾域に生息し、中国・韓国などの東シナ海沿岸部に分布する群を日本海・東シナ海・瀬戸内海系群と称しています(図1)。

本系群の主な産卵場は、八郎潟周辺、七尾湾、若狭湾、福岡湾、有明海、八代海、関門海峡周辺、布刈瀬戸、備讃瀬戸とされ、朝鮮半島沿岸、中国沿岸にも存在するとされています。各地で生まれたトラフグは、日本海、東シナ海を索餌回遊し、オスは2歳、メスは3歳で成熟し、生まれた場所へ帰ってきて産卵することが知られています。寿命は10年以上と推定され、最大で全長60cm以上になります。

## 漁業の状況について

本系群を対象とする漁業は、漁場や成長段階によって多種多様です。本県海域では、産卵場である有明海では3〜5月に釣り、9〜11月に0歳魚が小型底びき網、九州北西部海域では10〜翌3月に延縄、橘湾では2〜5月に底びき網で漁獲されます。

漁獲量は2002年漁期の363トンから減少傾向で2020年漁期に159トンとなりました。2021年漁期には188トンと増加したものの、その後減少に転じ、2024年漁期は過去最小の131トンでした(図2)。

## 栽培漁業について

本種は栽培漁業対象種であり、本系群における人工種苗の放流尾数は2002年漁期から2011年漁期の294万尾まで増加傾向で、放流魚の大型化や尾鰭の欠損防止を図った結果、2012年漁期から減少し、2024年漁期は148.3万尾(速報値)でした(図3)。



図1. 本系群の分布域と主要産卵場

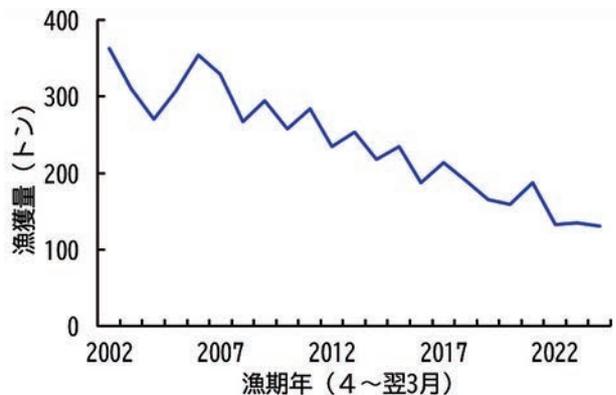


図2. 漁獲量の推移

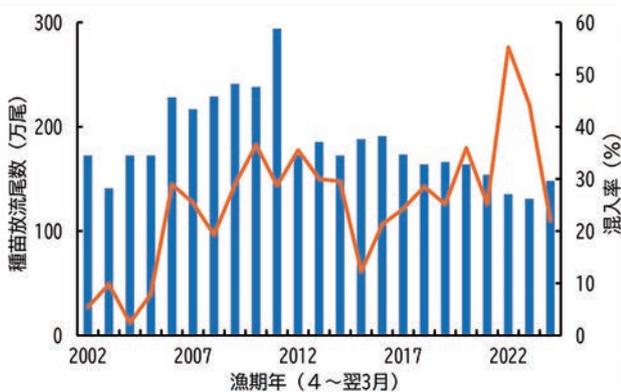


図3. 種苗放流尾数と混入率の推移

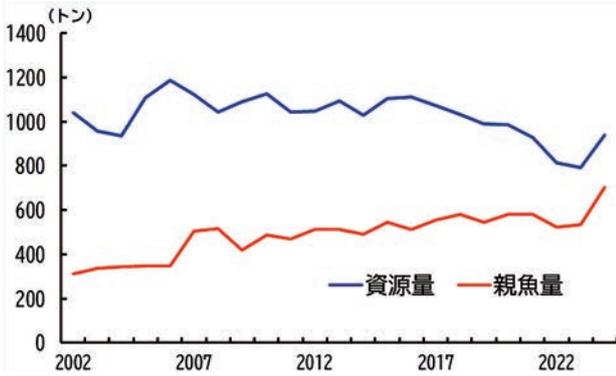


図4. 資源量と親魚量の推移

資源の状態

2024年漁期の資源量は941トン、親魚量は702トンと推定されました。資源量は2016年漁期以降、減少傾向で、親魚量(3歳以上の重量)は2002年漁期以降増加傾向です(図4)。

放流魚の一部には、胸鰭切除、アリザリン・コンプレクソン(ALC)などによる耳石染色などの標識が施され、天然魚と識別しています。2024年における0歳魚の加入尾数は11・3万尾で、うち放流魚が2・5万尾と推定され、混入率は21・9%と、他魚種に比べ高い混入率でした。

本系群は、漁獲が開始される0歳の資源尾数が減少しており全体の資源尾数に占める4歳以上の割合が高まっています(図5)。

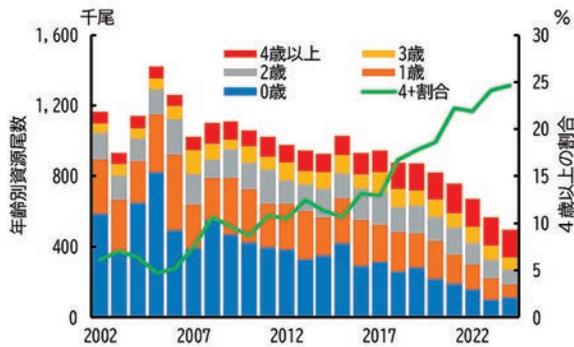


図5. 年齢別資源尾数と4歳以上の割合

将来の漁獲量

本系群の資源評価結果に基づき提案される漁獲管理規則(案)は、0歳魚の漁獲への加入について、天然魚のみの加入、放流を考慮した加入の2パターンの検討が行われました。目標管理基準値となる親魚量を実現するための将来の平均漁獲量は、天然のみの加入の仮定では、調整係数( $\beta=0.4$ )とした場合、2026年は60トン、管理目標年である10年後の2036年は77トンと予測されました。放流を考慮した加入の仮定では、放流尾数を直近3ヶ年平均とし、調整係数( $\beta=0.75$ )とした場合、2026年は109トン、管理目標年である10年後の2036年は148トンと予測されました。

た(表1)。

\*調整係数 将来の予測や再生産に関する不確実性(資源量推定の誤差、再生産関係のパラッキ、環境変動の影響、データ不足)を考慮して、獲り過ぎになるリスクを減らすことを目的に、将来の予測漁獲量を控えるために設定するための計数。計数が小さいほど、漁獲量を下げる必要がある。

表1. 管理基準値案と将来予測

目標管理基準値案	限界管理基準値案	禁漁水準案	2024年漁期の親魚量	MSY (最大持続生産量)	2024年漁期の漁獲量
577トン	329トン	0トン	702トン	191トン	135トン
			2035年に目標管理基準値案(577トン)を上回る確率		
$\beta$ (調整係数)	予測平均親魚量(トン)		予測平均漁獲量(トン)		
	5年後(2031年)	10年後(2036年)	管理開始年(2026年)	5年後(2031年)	10年後(2036年)
種苗放流をしない場合					
1	267	365	139	76	116
0.8	306	421	114	75	107
0.7	332	457	101	73	102
0.5	399	550	74	63	88
0.45	419	578	67	59	83
0.4	440	609	60	55	77
現在の漁獲圧	326	440	103	76	104
現在の規模の種苗放流を継続した場合					
1	358	475	141	123	162
0.9	387	519	128	120	158
0.8	422	570	115	115	152
0.75	441	599	109	112	148
0.7	461	629	102	108	144
0.4	606	861	61	78	108
現在の漁獲圧	457	623	104	109	146

\*10年後の2036年に目標管理基準値案(577トン)を上回る確率50%以上が推奨されています。

おわりに

本系群については、漁業者や関係者が自由に参加できる資源管理方針に関する検討会(ステークホルダー会合)が今年7月に開催されました。今年度中に2回目の検討会が開催予定です。

(栽培漁業科 小柳 沙織)

# 漁船海難月報

令和7年9月号 第七管区海上保安本部  
第262号 交通部安全対策課 発行

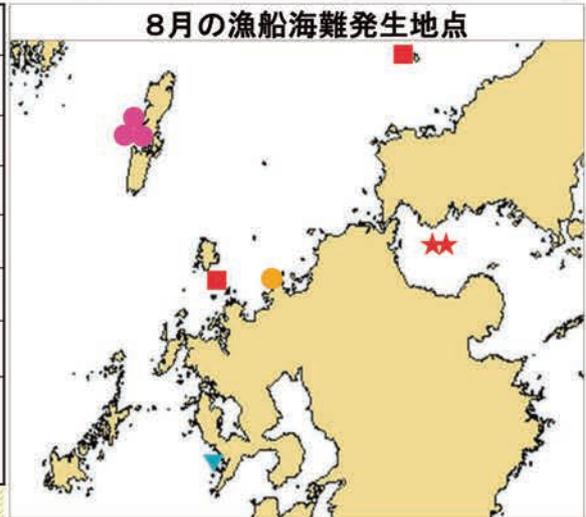
BACKNUMBER



令和7年8月発生  
七管内漁船海難 9隻

令和7年8月末現在 累計 43隻  
漁船海難発生隻数は前年に比べ **2隻増加**

漁船海難隻数 (速報値)		県別内訳	
		8月	令和7年累計
火災	● 3	山口県 3	9(5)
衝突	★ 2	福岡県 1	9(5)
運航不能 (機関故障)	■ 2	佐賀県 1	2(3)
乗揚	● 1	長崎県 4	23(23)
転覆	▼ 1	大分県 0	0(5)
合計：9隻 死亡、行方不明者：1名		合計 9隻	43隻(41隻) ( )は昨年同月



累計死亡・行方不明者数 2名(令和7年8月末日現在)

## 秋季安全推進活動

を実施します

漁船事故  
なくすっちゃ!



10月は秋季安全推進活動期間となります。自身の大切な命と船を守るために、次のことを徹底しましょう。

見張りの徹底！早めの回避！



気象・海象情報の入手活用！



自己救命索の確保！



救命胴衣の常時着用

連絡手段の確保

海の事件事故は118番

漁船の事故をゼロへ

秋季安全推進活動 令和7年 10月1日～31日

(公財)海上保安協会門地方本部 (公社)西部海難防止協会 第七管区海上保安本部

# 国税・地方税等キャッシュレス納付推進 ながさきプロジェクト

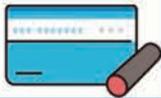
便利で安心！

## キャッシュレス納付



オススメだよ♪

### 口座振替の お手續



- 決まった日にご指定の預貯金口座から自動引き落としで便利！

国 税

- 税務署や金融機関の窓口で簡単お手續（初回のみ）
- ※ Webでのお手續には、金融機関お届け印は不要です

地方税等(介護保険料、上下水道料など)

- 金融機関や市・町の窓口で簡単お手續（初回のみ）
- ※ 金融機関お届け印を使わずに、Webでのお手續やキャッシュカードでのお手續ができる場合もあります

### スマートフォンでの キャッシュレス納付



- 時間と場所を気にせずお支払いできて便利！

国 税

- 国税庁HP「納税に関する総合案内」  
コチラ⇒



地方税等(介護保険料、上下水道料など)

- 長崎県HP「県内市町のキャッシュレス納付手續」  
コチラ⇒



### パソコンでの キャッシュレス納付



- ご自宅やオフィスから申告と納税を一括手續できて便利！

国 税

- 源泉所得税に最適！

ダイレクト納付 検索



地方税等(介護保険料、上下水道料など)

- 住民税（特別徴収分）や法人住民税に最適！

共通納税 検索



### 私たちからもキャッシュレス納付をオススメします

#### 〈参加団体〉

長崎県/県内13市・8町/県内8税務署

#### 〈協力機関〉

日本銀行長崎支店/十八親和銀行/長崎銀行/たちばな信用金庫/長崎三菱信用組合/長崎県医師信用組合/西海みずき信用組合/福江信用組合/九州労働金庫長崎県本部/農林中央金庫長崎支店/ゆうちょ銀行/みずほ銀行長崎支店/三菱UFJ銀行長崎支店/長崎県漁業協同組合連合会/長崎銀行協会/長崎県信用金庫協会/長崎県信用組合協会/長崎県商工会議所連合会/長崎県商工会連合会/長崎県納税貯蓄組合連合会/長崎県青色申告会連合会/長崎県法人会連合会/長崎ブロック間税会連絡協議会/長崎県酒造組合/九州北部卸酒販組合長崎地区部会/長崎県小売酒販組合連合会/九州北部税理士会長崎県地区連絡協議会

〔2025年6月版〕

# インターネットショッピングサイト

長崎県の安全・安心で新鮮な鮮魚・加工品を  
インターネットを通じてダイレクトに食卓へお届けします!!  
美味しいものはここにある

## 長崎漁連

ウェブショッピング JF長崎漁連

<https://www.jf-nagasaki.com>

長崎自慢の海産物を  
ネットでお取り寄せ!

長崎漁連 検索

JF 長崎県漁業協同組合連合会

小型漁船で操業する漁業者のみならずへ

## 衝突事故防止のための4つのポイント

### 機器等に集中しない

各種機器等を見続けるのは危険!

### 作業中も見張り

1人でも2人でも見張りを確実に!

### 他の船に注意

他の船が避けるだろうは危険!

### AIS・スマホアプリの活用

AISやスマホアプリで相手船の認識が容易に!

1人1人が安全対策を自分事として捉え、航行中や作業中も、常時、周囲の見張りをお願いします

#### 漁船の安全操業に関する情報

AIS(船舶自動識別装置)の普及促進に関する情報を紹介しています!

お問い合わせ先  
水産庁 漁政部企画課  
TEL: 03-3592-0731

#### スマホ用 海の安全情報

現在地周辺の海の安全情報が、表示されます!

お問い合わせ先  
海上保安庁 交通部安全対策課  
TEL: 03-3591-6361

#### 海の「事件・事故」は118番

「118番」は海上保安庁緊急通報用電話番号です

## あっぱれ

船舶塗料の専門店

山二塗料株式会社

0956-31-8020

095-837-8020

099-260-0600

## まごころで大きく包む

パッケージ資材全般・包装機械

# 株式会社 丸本

本社・営業部 / 〒851-0134 長崎市田中町593-1  
☎ 095-837-8205 FAX 095-837-8208  
工場・営業所/福岡工場・熊本工場・福岡営業所

## 定置網周辺の潮流・水温リアルタイム計測

潮流・水温観測用パイ

日付	時刻	電圧 (V)	電流 (mA)	流速 (cm/sec)	流向 (deg)	電圧 (V)	電流 (mA)	流速 (cm/sec)	流向 (deg)
2023-07-09	08:40:36	6.00	24.1	20.23	15.26	20.86	11.14	0.30	
2023-07-09	08:30:33	6.00	24.1	20.49	11.92	27.24	11.14	0.21	
2023-07-09	08:20:33	6.00	24.4	20.48	11.93	26.53	11.13	0.21	

株式会社ゼニライトバイ

九州営業所 TEL: 092-674-0001 FAX: 092-674-0002

## ハイビジョン (23.0cm~28.0cm)

## シーガル201

シバタ工業株式会社

長崎出張所 〒852-8124 長崎市辻町3-40 平山ビル1F  
TEL: 095-844-1210

## FURUNO 漁視ネット

定置網モニタリングシステム

型式 FMS-100

古野電気株式会社

長崎営業所 095-861-3261 福岡営業所 092-711-1777 佐世保営業所 0956-48-4440

## Printing & Planning SEIBUNSHA

(有)正文社印刷所

〒850-0874 長崎市魚の町6番6号  
TEL (095) 826-0211  
FAX (095) 825-0538  
URL <https://seibunsha.jp>

貝殻  
リサイクル魚礁



# JFシェルナース



魚礁  
(6.0型)



イサキ(対馬市)



ヒラマサ(西海市)



メバル(佐世保市)



イセエビ(新上五島町)



マダイ(対馬市)



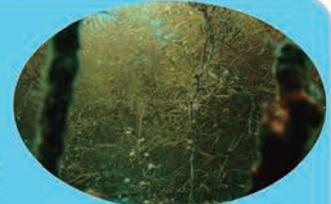
マアジ(南島原市)

保護礁  
(プラス1.0型)



漁業者による  
種苗の準備

取り付けた海藻は  
順調に  
生長しています!



設置10年以上経過  
ホンダワラ類(長崎市)



2カ月後(長崎市)



1年2カ月後(対馬市)



1年5カ月後(平戸市)

漁師の考えた小型ブロック

貝藻くん



60cm×55cm×45cm、重量60kg

長崎県内で1,156基(全国約12,573基)  
ご採用いただいております(2013~2024.4.1現在)



クロメ生育状況



下の隙間に隠れるクエ

お問合せ先 JF長崎漁連 購販部 購買課 TEL 095-829-2420

開発・製造 海洋建設株式会社



**JF**  
JFグループ

着けよう、  
あなたが家族のことを  
思うなら。

めざせ！  
海難事故

自分の命は自分で守る！  
わずらわしさと窮屈さから解放！  
ベスト感覚で着れる  
ファッションなライフジャケット  
常時着用型救命胴衣(自動膨張式)

膨張時

反射リフレクター  
エア-吹入補充バルブ  
ホイッスル  
炭酸ガスボンベ  
手動レバー

お問い合わせは、長崎県漁連 購買課まで TEL 095-829-2418~2420

# 「ギョレンオイル大漁」 発売から 50 年



「ギョレンオイル大漁」は、漁船で使用される機械とその使用条件を考慮して定めた規格に合わせて開発した、漁船のためのエンジンオイルです。

ギョレンオイル **大漁スーパー**  
中・小型漁船の高速エンジン用 (SAE30、40、15W-40)

**大漁ロイヤル**  
大・中型漁船の中・低速エンジンオイル (SAE30、40)

**大漁LL**  
大・中型漁船の長期航海用 (30、40)  
小型高出力エンジン用のロングライフオイル (15W-40)

**大漁ハイドロスーパー**  
耐荷重性に優れた漁船用油圧作動油 (ISO VG32、46)

**大漁ベストクール**  
陸上冷凍装置から遠洋漁業の超低温冷凍装置まで (ISO VG32、46)

漁協は、JFグループへ。

JFブランド商品

## “ギョレンオイル大漁シリーズ”

漁船用エンジンのための最高級オイル。

〈エンジンオイル〉

- 大漁スーパー
- 大漁ロイヤル
- 大漁LL

〈油圧作動オイル〉

- 大漁ハイドロスーパー

〈冷凍機オイル〉

- 大漁ベストクール



海には、JFマークの商品を。



JFグループ

問い合わせ先 JF全漁連 購買事業部 石油第2課 TEL 03-6222-1323  
問い合わせ先 JF長崎漁連 購買課 TEL 095-829-2419



発行/長崎県漁業協同組合連合会  
〒850-8686 長崎市五島町2番27号 TEL095-829-2413  
年間購読料 2,000円 (会員の購読料は会費に含む)

長崎県漁連 WEBサイトアドレス  
<http://www.nsgyoren.jf-net.ne.jp/>

